



kokoro-netto

平成 29(2017)年12月発行 Winter No.35

コンビニ
などで
使える!

PRESENT!
アンケートに答えて
Quoカード
2,000円
相当を
ゲットしよう!!



巻頭特集

若者の貧困と人権

ふえる「若者の貧困」 それってホント!?



人権コラム / 働き方改革

自分らしく働くことができ ていますか?

Diversity Human Interview

子どもも親も「助けて」と 言いやすい社会に

特定非営利活動法人 あつとすくーる
理事長 渡 剛さん



「若者の貧困」それは、 本人の責任では済まされない問題です!



大阪府人権啓発マスコット
キャラクター「にっこりな」

マンガ★脱・貧困のコツは、孤立しないこと!

高校卒業後、就職したものの長時間労働やハラスメントで退職したダイさん

その後、考えが甘い、本当にがんばってる?、親にも頼れない...自信が...

自分らしく働きたい!

ここには色んな人が集まっているんだ...

例えばシンさんは引きこもりだったけど、ここに思いながら自立をめざしている

ユウさんは母子家庭で、子どもが放課後、ここで迎えて待っている

「生活苦は自業自得」そんな偏見で、気力も自信も失ったことあるよね!

ツライのは自分だけじゃないんだな...でもどうしたら...

セミナーに参加してみない? ですか?

数カ月後、みんなのおおきなおかげで採用!

そして...

自分たちの未来を信じよう!!

若者の貧困の原因は?

日本に住む子どもの約6〜7人に1人が**相対的貧困**(※1)だと言われており、昨今特に、その子どもの親世代を含め「若者の貧困」が問題になっています。

その背景には、長時間労働等のブラック企業、職場でのハラスメントといったことが要因で会社を辞めざるを得なかったり、正社員を減らす企業も増えているため、非正規雇用になる可能性が高くなる傾向があります。そうなる、なかなかそこから抜け出せなくなり、不利な状況を引きずることもあります。

このような状況は決して他人事ではありません。誰もが「貧困と隣合わせ」と言えるのではないのでしょうか。また、誰かが貧困におちいった場合、「若いになぜ働かないの?」「仕事を選り好みして!」「努力してる?」などの誹謗・中傷、偏見は、ますますその人の心を傷つけるうえ、孤立させてしまうこともあります。

今回は、現代の若者の置かれている現状の厳しさを知っていただき、社会全体の問題として考えていただきたいと思います。

(※1)相対的貧困については4ページの用語解説をご覧ください。



「若者の貧困」の要因と背景(例)

今の若者の貧困は、バブル崩壊後、長引いた日本経済の低迷や雇用形態の変化(終身雇用や年功序列による昇給・昇進の廃止、リストラ、賃金カット、非正規雇用など)の他にもいろいろな背景や要因がありますが、親世代の経済状況で子どもの進路の幅が決まる場合もあり、このような連鎖も若者の貧困要因の1つと考えられます。



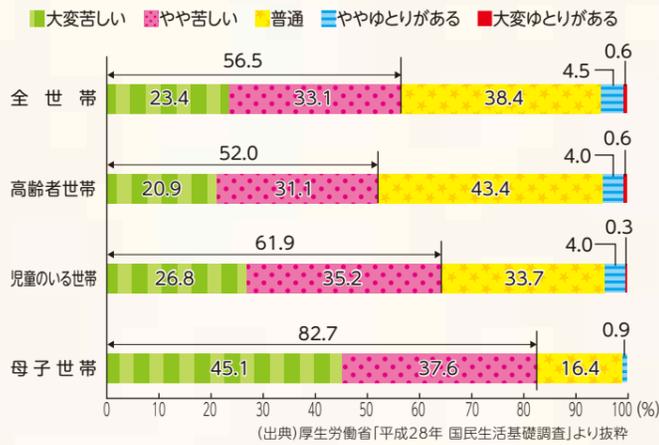
このような貧困の連鎖は、社会問題の1つであり、「若者の夢や希望、働く意欲」の低下へつながります。



データが示す

貧困の状況と若者や子どもの状況

●各種世帯の生活意識



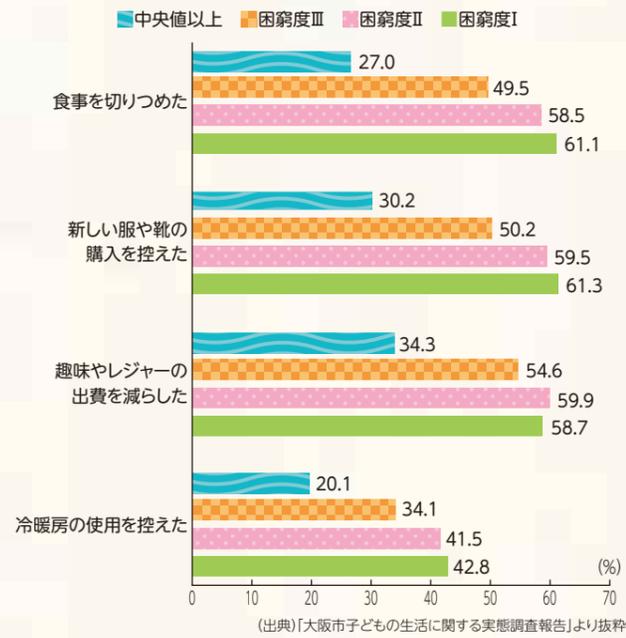
用語解説

可処分所得とは、収入から税金や社会保険料などを差し引いたものです。この可処分所得をもとに、世帯員の生活水準を表すよう調整したものが**等価可処分所得**です。下表の**中央値**とは、国民の年収の平均値ではなく、年収が低い順(高い順)に国民を並べたときに、ちょうど真ん中になる人の年収を表しているため、普通の人の生活水準により近くなります。**困窮度**とは、その中央値から困窮度I・II・IIIを割り出しています。**相対的貧困**とは、上記「中央値」の半分未満(困窮度I)の世帯員を示しています。

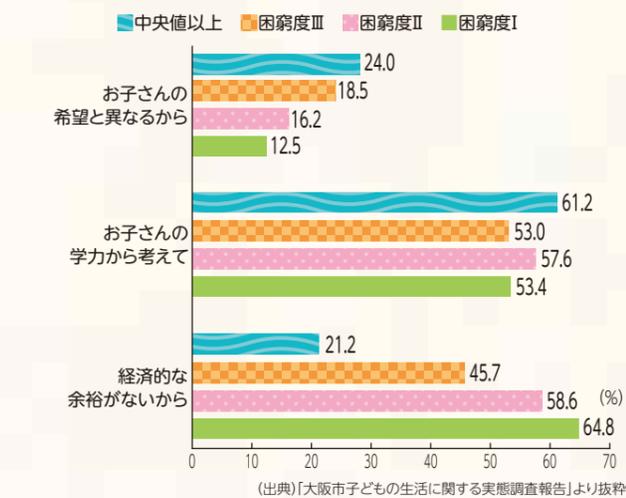


食事を切りつめたり、冷暖房の使用を控えるなど、節約せざるを得ない状況。そして、子どもの進学についても、経済的理由であきらめる保護者が、特に困窮度IとIIの世帯に多いことがわかります。また、生活意識のグラフでは、大変苦しい・やや苦しいを合わせた「苦しい」との答えが、母子世帯では82.7%となっています。

●困窮度別に見た、経済的な理由による経験 〈小5・中2のいる世帯(保護者回答)〉



●困窮度別に見た、子どもの進学達成「思わない」理由 〈小5・中2のいる世帯(保護者回答)〉



一人で悩まず、困った時は

誰もが「SOS」と言える社会をめざしましょう!



あなたは知っていますか?

「若者の貧困」がもたらす社会への影響

“若者への支援は本当に必要な?”と思われる人もおられるかもしれませんが。「若者は働けば自立できる!」と言われることもあります。本当にそうでしょうか。

働いても思うような収入が得られなかったり、ボーナスや福利厚生がない職場もあります。このように、個人だけでは解決できないことも多くあります。そして、この「若者の貧困問題」は、若者以外の生活にも少なからず影響しています。

経済的な不安から、結婚したくてもあきらめる

●少子高齢化が加速



若者の貧困は、税収の減少や少子化だけでなく、若者の将来への希望やチャレンジ精神を奪い、企業も社会も衰退していきます。そうならないためにどうしたら良いのか、自分にできることはないか考えてみましょう。

希望する賃金がもらえない 非正規雇用、フリーターが増える

●税金・年金の減少



労働時間が長くなり、大人が不在がちな家庭が増える

●育児に十分な時間がかけられない



相談・支援窓口

生活困窮者自立支援事業

各区役所内に相談支援窓口を設置
相談支援員が多様な課題を抱える生活困窮者に対し、さまざまな相談窓口や地域のネットワーク、関係機関等と連携し、相談者の自立に向けた支援を行います。



大阪市人権啓発・相談センター

大阪市西区立売堀4-10-18 阿波座センタービル1階

☎06-6532-7830 (なやみゼロ)

FAX 06-6531-0666

時間 月～金 9:00～21:00 / 日・祝日 9:00～17:30

詳しくは裏表紙のご案内へ。または [大阪市 人権相談メール](#) で検索

大阪市立愛光会館 (大阪市ひとり親家庭等就業・自立支援センター)

ひとり親家庭・寡婦福祉事業の拠点施設として、法律相談や就業相談などの各種相談、求人情報の提供、職業紹介を行うなど、一貫したサービスを行っています。

指定管理者 公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会
大阪市北区中津1-4-10

☎06-6371-7146 FAX 06-6371-6722